

# 平成 28 年 度 事 業 報 告 書

特定非営利活動法人日本水中ロボネット

## 1 事業の成果

水中ロボットを使った競技会等を通じて、高校、大学等における水中ロボット工学への取り組みを支援した。このことにより、次世代の水中ロボット工学及び水中工学に関する研究開発及び教育の推進に寄与した。本年度は水中ロボットに関するセミナーの開催をはじめ、前年以上に充実した成果を上げた。

## 2 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

① 水中ロボットを使った競技会、水中ロボット工学及び水中工学の講習会、展示会及びその他各種イベントの企画、開催及び運営に関する事業

ア '第6回水中ロボットフェスティバルの開催

- ・内 容 自作の水中ロボットによる競技会とワークショップおよび水中工学の講演会を実施した。
- ・日 時 平成 28 年 3 月 26 日（金）～ 30 日（日）
- ・場 所 神戸市立ポートアイランドスポーツセンター
- ・従事者人員 7 人
- ・受益対象者 中学生、高校生、教育関係者
- ・受益対象者人数 延べ約 70 名（2 日間）
- ・支 出 額 732 千円

イ '16 水中ロボットコンベンション in JAMSTEC の開催（日本財団海でつながるプロジェクト助成事業）

- ・内 容 自作の水中ロボットによる競技会とワークショップを実施した。
- ・日 時 平成 28 年 8 月 26 日～28 日
- ・場 所 独立行政法人海洋研究開発機構横須賀本部
- ・従事者人員 12 人
- ・受益対象者 中学生、高校生、大学生、教育関係者、一般社会人
- ・受益対象者人数 延べ約 350 名（3 日間）
- ・支 出 額 2,501 千円（日本財団助成金 2,001 千円を含む）

ウ 水中ロボットに関するセミナーの開催

- ・内 容 水中ロボットおよび関連する海中技術に関するセミナーを開催した
- ・日 時 平成 28 年 8 月 27 日
- ・場 所 独立行政法人海洋研究開発機構横須賀本部
- ・従事者人員 5 人
- ・受益対象者 中学生、高校生、大学生、教育関係者、一般社会人
- ・受益対象者人数 約 60 名
- ・支 出 額 0 千円

エ Techno-Ocean2016 水中ロボット競技会の開催

- ・内 容 自作の水中ロボットによる競技会とワークショップを実施した。
- ・日 時 平成 28 年 10 月 8 日

- ・場 所 神戸市立ポートアイランドスポーツセンター
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 中学生，高校生，大学生，教育関係者，一般社会人
- ・受益対象者人数 約450名
- ・支 出 額 0千円

オ 海洋ロボットコンベンション in 沖縄の共催

- ・内 容 琉球大学産学官連携推進機構が主催する海洋ロボットコンペティション in 沖縄を共催した。
- ・日 時 平成28年11月18日～20日
- ・場 所 沖縄那覇市波の上うみそら公園他
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 高専生，大学生，教育関係者，一般社会人
- ・受益対象者人数 延べ約200名（3日間）
- ・支 出 額 0千円

② 水中ロボット工学及び水中工学に関連する情報収集，調査及び研究に関する事業

ア 水中ビークル・フリーミーティングへの支援活動

- ・内 容 水中ロボット／水中ビークルの水中自由試験・情報交換
- ・日 時 年8回
- ・場 所 独立行政法人海洋研究開発機構横須賀本部他
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 高校生、大学生、教育関係者、一般社会人
- ・受益対象者人数 延べ約120名
- ・支 出 額 125千円

③ 水中ロボット工学及び水中工学に関する普及，啓発及び推進に関する事業

ア Maker Faire Tokyo 2016 への参加

- ・本年度は、参加を取りやめた。

(2) その他の事業 該当なし

(3) 法人の運営

① 広報活動

ア ホームページの公開継続と更新

- ・内 容 ホームページを更新し、最新の情報を発信した。
- ・日 時 通年
- ・従事者人員 2人
- ・支 出 額 156千円

イ ロゴの商標登録

- ・内 容 ロゴの商標登録を行う計画であったが、本年度は実施を延期した。
- ・日 時 通年
- ・従事者人員 1人
- ・支 出 額 0千円

② その他

日本財団の他、日本船舶海洋工学会、IEEE OES 日本支部、MTS 日本支部、ONRG、TON から助成を頂いた。